

# CASBEE® - 建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社井上運送 佐谷田倉庫新築工事[C棟]	階数	地上1F
建設地	埼玉県熊谷市佐谷田字中原3145	構造	S造
用途地域	市街化調整区域、防火地域指定なし	平均居住人員	16人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,086時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年10月 予定	評価の実施日	2021年1月7日
敷地面積	3,987㎡	作成者	古郡建設(株)一級建築士事務
建築面積	2,440㎡	確認日	2021年1月7日
延床面積	2,500㎡	確認者	古郡建設(株)一級建築士事務



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.7** ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.2**      **LR のスコア = 3.6**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.6

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 3.0

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

3 設計上の配慮事項		
総合 本敷地の特性を考慮しつつ、可能な限り緑地を計画し周辺環境に配慮している。		その他
Q1 室内環境	Q2 サービス性能 階高を高く設定し、壁長さ比率を小さくすることにより、空間にゆとりをもたせている。	Q3 室外環境 (敷地内) 中高木を植栽することにより敷地内温熱環境の向上に努めている。
LR1 エネルギー LED照明を採用するなど、設備システムの高効率化に配慮している。	LR2 資源・マテリアル 自動水栓、泡沫水栓、節水こまや、省水型機器を用いるなど、水資源を保護している。	LR3 敷地外環境 燃焼器具を使用せず、大気汚染の防止に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# CASBEE埼玉県 重点項目シート

■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

## 1 建物概要

建物名称	株式会社井上運送 佐谷田倉庫	BEE	1.7	BEEランク	★★★★
------	----------------	-----	-----	--------	------

## 2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア			
4.1	+	3.0	=	7.1	
重点項目の各スコアの合計点					
がんばろう 6.0未満	良い 6.0以上	非常によい 6.8以上		すばらしい 8.0以上	

## 3 重点項目についての環境配慮概要

<b>(1) ライフサイクルCO2の削減</b>		スコア平均	4.1
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	4.1
消費エネルギー量削減により運用時のLCCO2排出量低減に配慮			
<b>(2) 緑の保全・創出</b>		スコア平均	3.0
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	3.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	3.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	3.0
中高木を植栽することにより敷地内温熱環境の向上に努めている。			

:入力欄

**CASBEE-建築(新築)2016年版**  
**株式会社井上運送 佐谷田倉庫新築工事【C棟】**

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版  
 ■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート 実施設計段階						
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
<b>Q 建築物の環境品質</b>						<b>3.2</b>
<b>Q1 室内環境</b>						
<b>1 音環境</b>						
1.1 室内騒音レベル		-	-			
1.2 遮音		-	-			
1 開口部遮音性能		-	-			
2 界壁遮音性能		-	-			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						
1.3 吸音		-	-			
<b>2 温熱環境</b>						
2.1 室温制御		-	-			
1 室温		-	-			
2 外皮性能		-	-			
3 ゾーン別制御性		-	-			
2.2 湿度制御		-	-			
2.3 空調方式		-	-			
<b>3 光・視環境</b>						
3.1 昼光利用		-	-			
1 昼光率		-	-			
2 方位別開口						
3 昼光利用設備						
3.2 グレア対策		-	-			
1 昼光制御		-	-			
3.3 照度		-	-			
3.4 照明制御		-	-			
<b>4 空気質環境</b>						
4.1 発生源対策		-	-			
1 化学汚染物質		-	-			
4.2 換気		-	-			
1 換気量		-	-			
2 自然換気性能		-	-			
3 取り入れ外気への配慮		-	-			
4.3 運用管理		-	-			
1 CO <sub>2</sub> の監視		-	-			
2 喫煙の制御		-	-			
<b>Q2 サービス性能</b>			0.43			<b>3.6</b>
<b>1 機能性</b>						
1.1 機能性・使いやすさ		-	-			
1 広さ・収納性		-	-			
2 高度情報通信設備対応		-	-			
3 バリアフリー計画		-	-			
1.2 心理性・快適性		-	-			
1 広さ感・景観		-	-			
2 リフレッシュスペース		-	-			
3 内装計画		-	-			
1.3 維持管理		-	-			
1 維持管理に配慮した設計		-	-			
2 維持管理用機能の確保		-	-			
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>3.3</b>	0.50			<b>3.3</b>
2.1 耐震・免震・制震・制振		<b>3.0</b>	0.50			
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80			
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数		<b>4.0</b>	0.30			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	ガルバリウム鋼板40年	5.0	0.20			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	床:塩ビシート20年、壁ビニルクロス貼20年、天井岩綿吸音板30年	5.0	0.10			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水汚水雑排水管の主要用途3種についてB以上で、Eは不使用	5.0	0.20			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20			
2.4 信頼性		<b>3.0</b>	0.20			
1 空調・換気設備		3.0	0.20			
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20			
3 電気設備		3.0	0.20			
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20			
5 通信・情報設備		3.0	0.20			

<b>3 対応性・更新性</b>			<b>3.9</b>	0.50		-	<b>3.9</b>
<b>3.1 空間のゆとり</b>			<b>4.6</b>	0.30		-	
1	階高のゆとり	階高3.9m以上	5.0	0.60		-	
2	空間の形状・自由さ	0.1≤[壁長さ比率]<0.3	4.0	0.40		-	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>		倉庫床3500N/m <sup>2</sup> 以上	<b>4.0</b>	0.30		-	
<b>3.3 設備の更新性</b>			<b>3.4</b>	0.40		-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20		-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20		-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10		-	
4	通信配線の更新性	PF管配線、倉庫内の内装仕上げなしなどにより仕上材を痛めずに更新・修繕	5.0	0.10		-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20		-	
6	バックアップスペースの確保	敷地内建物周囲に予備が置けるスペースがある	4.0	0.20		-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	0.57		-	<b>3.0</b>
<b>1 生物環境の保全と創出</b>			<b>3.0</b>	0.30		-	<b>3.0</b>
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>			<b>3.0</b>	0.40		-	<b>3.0</b>
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>			<b>3.0</b>	0.30		-	<b>3.0</b>
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		<b>3.0</b>	0.50		-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		<b>3.0</b>	0.50		-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>			-	-		-	<b>3.6</b>
<b>LR1 エネルギー</b>			-	0.40		-	<b>4.0</b>
<b>1 建物外皮の熱負荷抑制</b>			-	-		-	-
<b>2 自然エネルギー利用</b>			<b>3.0</b>	0.13		-	<b>3.0</b>
<b>3 設備システムの高効率化</b>		[BEI][BEIm] = 0.40	<b>5.0</b>	0.63		-	<b>5.0</b>
<b>4 効率的運用</b>			<b>2.0</b>	0.25		-	<b>2.0</b>
集合住宅以外の評価			<b>2.0</b>	1.00		-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50		-	
4.2	運用管理体制		1.0	0.50		-	
集合住宅の評価				-		-	
4.1	モニタリング			-		-	
4.2	運用管理体制			-		-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	0.30		-	<b>3.3</b>
<b>1 水資源保護</b>			<b>3.4</b>	0.20		-	<b>3.4</b>
1.1	節水	自動水栓、泡沫水栓、節水こまや節水型便器を使用	<b>4.0</b>	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			<b>3.0</b>	0.60		-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70		-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30		-	
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>			<b>3.3</b>	0.60		-	<b>3.3</b>
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.11		-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.22		-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.22		-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	断熱材:土間下	3.0	0.22		-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		-	-		-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	内装が乾式工法で分別性・設備との錯綜に配慮	5.0	0.22		-	
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>			<b>3.3</b>	0.20		-	<b>3.3</b>
3.1 有害物質を含まない材料の使用			<b>3.0</b>	0.30		-	
3.2 フロン・ハロンの回避			<b>3.5</b>	0.70		-	
1	消火剤		-	-		-	
2	発泡剤(断熱材等)	ODP=0、GWP=3の断熱材を使用	4.0	0.50		-	
3	冷媒		3.0	0.50		-	
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	0.30		-	<b>3.5</b>
<b>1 地球温暖化への配慮</b>		消費エネルギー量削減により運用時のLCCO <sub>2</sub> 排出量低減に配慮	<b>4.1</b>	0.33		-	<b>4.1</b>
<b>2 地域環境への配慮</b>			<b>3.4</b>	0.33		-	<b>3.4</b>
2.1	大気汚染防止	燃焼機器を使用していない	<b>5.0</b>	0.25		-	
2.2	温熱環境悪化の改善		<b>3.0</b>	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			<b>2.7</b>	0.25		-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25		-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.25		-	
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25		-	
<b>3 周辺環境への配慮</b>			<b>3.1</b>	0.33		-	<b>3.1</b>
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			<b>3.0</b>	0.40		-	
1	騒音		3.0	1.00		-	
2	振動		-	-		-	
3	悪臭		-	-		-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			<b>3.0</b>	0.40		-	
1	風害の抑制		3.0	0.70		-	
2	砂塵の抑制			-		-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制			<b>3.7</b>	0.20		-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害チェックリストを一部満たす、広告物照明がない	4.0	0.70		-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	